

目黒稲門会会報



(題字：眞仁田 勉 初代会長)

第88号 2020年9月

発行人：後藤 克彦 編集長：猪名川 一雄 事務局長：吉野 博明
事務局：〒153-0053 目黒区五本木2-22-6 Tel 03-3713-1684

第21回定時総会を书面開催

会長挨拶

目黒稲門会会長 後藤克彦

会員の皆様、コロナに負けない毎日を送っていらっしゃるものと存じます。私自身「一人または少人数で空いた時間に。すれ違う時は距離をとる。混んでいる時間を避ける。」をモットーに体力作りのため、マスクつけての裏道散歩する毎日です。緊急事態宣言が解かれてから、多くの店が開き始め、街頭に出る人も多くなり、人の動きが活発化しています。「もう大丈夫だ。私だけは大丈夫だ。」と思い込み、気が緩んだ時こそ気をつける時です。各部会での活動が中止しておりますが、メールおよびオンライン茶話会では希望する会員相互の話題作り等もしております。積極的な参加をお願いします。今こそ会員相互の結束が必要です。会報への投稿もお願いします。

さて、本年はコロナの影響で、やむなく一堂に会しての第21回定時総会・懇親会につきまして中止とし、書面による決議をお願い致しました。皆様のご協力により、おかげさまですべて原案通り決議頂きました。コロナ禍による非常時とはいえ、皆様の温かいご支援に改めて感謝申し上げます。

末筆ながら、皆様のご健康に留意され、元気に再会できることを楽しみにしております。

第21回定時総会について

本年はコロナの影響で定時総会は書面にて実施し懇親会は中止となりました。

承認事項(2019年度事業報告・決算/監査報告。2020年度事業計画(案)、予算(案)並びに人事(案)に関し、はがきでの承認諾否をお願い致しましたが、87名(休会者を除く会員の63%)の会員にご回答頂き、回答者全員より『諾』の回答を頂きましたので、決議が承認されました。

(吉野 記)

東京都23区支部新運営体制について

～第2ブロックから第3ブロックへ～

2018年4月より開始された第2ブロックによる支部運営は、校友会組織が4年毎に交代するタイミングに合わせ2020年5月19日開催の2019年度定時総会にて支部運営が正式に第2ブロックから第3ブロックへバトンタッチされました。新運営体制の基本方針と執行部体制は以下の通りです。当会は運営ブロックの一員として運営に協力する所存です。

【基本方針】

23区稲門会の拡大発展・相互の交流親睦を図り、早稲田大学の発展に寄与をする。校友会組織における地域稲門会で最大規模の支部としての役割を果たしていく。本年度より4年間の任期で第3ブロックが支部長ブロックを担当する。第2ブロックが築いたブロック担当制についての運営ノウハウを有効に活かし発展させる。次期担当の第1ブロックへと繋がる活発で安定した支部運営を図る。

【執行部体制】(敬称略)

支部長：金森捷三郎(大田)、副支部長：若菜茂(杉並)、副支部長：佐藤裕彦(大田)、幹事長：金子秀二(渋谷)、副幹事長：旭正勝(世田谷)、副幹事長：橋本信博(港)、副幹事長：加藤弘美(渋谷)、副幹事長：笠谷興一朗(目黒)、総務局長：勝山宏則(品川)、財務局長：大矢泰嗣(港)、渉外局長：未定、監事：佐野優樹(新宿)、監事：武者英之(葛飾)、顧問：高田宜美(中野)

【東京都23区支部ブロック構成】

第1ブロック：足立稲門会、荒川稲門会、江戸川稲門会、葛飾稲門会、江東稲門会、墨田稲門会、台東稲門会、中央稲門会

第2ブロック：板橋稲門会、北稲門会、新宿稲門会、千代田稲門会、豊島稲門会、中野稲門会、練馬稲門会、文京稲門会

第3ブロック：大田稲門会、品川稲門会、渋谷稲門会、杉並稲門会、世田谷稲門会、港稲門会、目黒稲門会

(笠谷 記)

活動自粛下のオンライン茶話会

2019年度は目黒稲門会設立20周年を迎え7月7日の定時総会・祝賀会を皮切りに9月の1泊2日のゴルフ大会、11月の1泊2日のウォーキング部会、本年1月の1泊2日の旅行部会を開催、2月には記念行事の締めくくりとして会員とご家族の参加による美術作品展を6日に渡り開催した。これらの行事に携わってきた幹部は無事に一連の行事を終えほっとしていたところ、新型コロナウイルス感染拡大が顕著化し校友会より一連の活動自粛要請があり、驚きと今後の対応についてどうすべきか頭が一杯になった。しかし対応については迷うところは無かった。今こそ会の真価が問われる時だ、やるべき事はやる、多くの幹部の意見であった。

当会は、いち早く3月初の役員会を書面方式に切り替え、全ての活動を中止とした。同時に、何とか会員同士の交流の機会を維持していきたいと考え、約78%の会員宛の事務局メールに加え、メールおよびオンライン茶話会を新たに設置した。

メール茶話会は4月22日開設後、7月31日までに参加者30名、495件の投稿があった。

一方、オンライン茶話会の設置については困難が予想されたが幸いにもZoomを熟知している小杉哲幹事、横山仁一会員の多大なる協力を得て早期に開催する事ができた。4月27日に第1回を開催、7月29日までに22名が参加、計16回の茶話会を開催した。

これらの茶話会を通じて、自粛時でのウォーキングによる体力作り、高齢者と若者との違い、知らないとは言えない日本人の話、目黒の歴史、目黒の豆腐屋、近くの植物に関する知識、等々の情報交換、議論を通じて会員相互の理解を深めている。

参加者の中には既に海外に駐在の息子さん家族とZoom経験のある方、1階で奥様が、2階で息子さんがZoomのためやむを得ずスマホで参加される方、通院の帰りにスマホで参加される方、奥様のZoom緊急会議のため参加出来ない方、『Zoom会 自分の顔は見たくない』ということで参加されない方、等色々事情がある事も今回知ることができた。

いずれも参加自由としている。このため参加者は予想を下回っているが、会員の絆の太さを示す一つのパロメーターにするとの認識で活動自粛が解除された後も一層促進して行く予定である。

なお、約22%のメールアドレスを有しない会員についても年4回発行の会報を通じてメールおよびオンライン茶話会で話題となった事柄を報告し会員同士の交流を一層深めて行きたい。(金井 記)



美術・歴史鑑賞部会からのお知らせ

新型コロナウイルスの感染が拡がり、外出も躊躇せざるを得ない今日この頃ですが、皆様如何お過ごしでしょうか。美歴部会より東京近郊の最近の美術館・博物館情報をお伝えします。

- ・国立西洋美術館上野:「ロンドンナショナルギャラリー展」予約制 ¥1700
10/18まで 7/27を除く月休み 03-5777-8600
- ・東京国立近代美術館:「ピーター・ドイグ展」予約制 ¥1700 10/11まで 月休み 03-5777-8600
- ・国立新美術館:古典x現代2020 時空を超える日本のアート 予約制 ¥1700(乃木坂) 火休み
03-5777-8600
- ・東京都現代美術館:オラファー・エリアソン(デンマーク出身) ¥1400 9/27まで(清澄白河)
03-5777-8600
- ・東京都庭園美術館:東京モダン生活 旧朝香宮邸(1930年代の東京) ¥900 7/22休み(目黒)
050-5541-8600
- ・東京ステーションギャラリー:きたれバウハウス(造形教育の基礎) 予約制 月休み ¥1200(東京)03-3212-2485
- ・国立映画アーカイブ:松竹第一主義(松竹映画の100年) ¥250 月休み(京橋)
050-5541-8600
- ・山種美術館:桜さくらSAKURA(大観、御舟らの日本画) 予約制 ¥1300 月休み(恵比寿)
050-5541-8600

ただし、最近では状況が随時変わります。最新情報は各館にご確認ください。当面団体での鑑賞会は休止しております。

美術・歴史鑑賞部会 永井正孝

会員の広場

新しい発見

吉田博行（昭和42年 政経）

目黒川の源流は何処なのか歩いて見ようと思い付き、大橋から上流に向かって歩いた。世田谷区に入ると目黒川は暗渠になるが、その上は手入れの行き届いた緑道に整備されている。目黒川緑道は池尻2丁目付近で、烏山川緑道と北沢川緑道に分岐する。緑道はさらに続いている。緑道に添って、清流の流れる小川が造られて鴨が遊び、大きな鯉が悠々と泳いでいた。周りは色とりどりの花が咲いていた。烏山川緑道は国士舘大学の脇を通り世田谷城址公園からさらに先があるようだ。分岐した北沢川緑道は小田急梅が丘の先まで続いている。小生の探索は両緑道ともそこまでで、それより先へは、まだ行けていない。出来ればそれぞれの緑道の起点まで行ってみたいと思う。

写真は、目黒川緑道の分岐点付近で撮影したいろいろな美しい花、浅い清流に遊ぶ鴨です。カメラを通して四季を撮りたいと、下手でも撮影の意欲が湧いてきたようだ。

『コロナ禍に 耐えて散歩や 初夏の風』



コロナに負けない体力作り－1日1万歩の散歩

目黒の馬頭観音巡り

後藤克彦（昭和42年 文）

新型コロナウイルス緊急事態宣言により、私達の生活様式が変わった。『1人または少人数で空いた時間に。すれ違う時は距離をとる。混んでいる時間帯を避ける。』をモットーに体力作りのために裏道1日1万歩マスク着けての散歩を続けている。行き先の目標がないと毎日続けることは難しい。そんな時、目黒稲門会有志による Zoom で話題になった「目黒の馬頭観音」にヒントをもらい調べると区内に13ヶ所あることがわかり地図にして散歩を実行した。

そもそも「馬頭観音」とは何か－観世音菩薩の化身であり、六観音のひとつで、宝冠に馬頭をいただき忿怒の相をしている。ヒンドゥー教の最高神ビシュヌが馬の頭に変化して敵を倒したとされる神話を起源。江戸時代には馬の供養と結び付いて信仰されるようになった。怒りの激しさによって苦悩や諸悪を粉碎し、馬が草を食べるように煩惱を食べ尽くして災難を取り除くとされている。畜生道に迷う人々を救済したり、家畜の安全と健康を祈ったり、旅の道中を守る観音様として信仰されていた－を頭に入れて「馬頭観音」を巡る散歩に出た。

5月20日午後2時30分鷹番を出発。20年以上も住んでいた平町の馬頭観音から。探すこと30分以上も費やした。何と昔の我が家から3分の所にあるお墓の片隅にありました。次に中根西三叉路、自由が丘にある栗山家馬頭観音と回り1万2千歩。21日午前10時過ぎに鷹番、目黒本町の文右衛門窪と十羅利下。23日午前11時半から五本木三丁目、目黒銀座、五本木組（めぐろ歴史資料館）。24日午前11時に上目黒五丁目の寿福寺、東山中学校横の坂の途中に東山馬頭観音が立札共にあった。25日午前11時過ぎに目黒不動龍泉寺三十間堀と境内の馬頭観音で13ヶ所を無事突破して、馬頭観音巡りの1日1万歩の散歩は終了しましたが気になる資料がありました。練馬区早宮二丁目の本寿院境内に「僧形馬頭観音」－この馬頭観音は実際の馬が法衣を着て数珠を持って座っている大変珍しい馬頭観音です。



十間堀馬頭観音



鷹番馬頭観

マーケティングを活かした地域貢献

安藤嘉昭（昭和42年 法）

地域との関わりは、「目黒区廃棄物減量化実行委員会」の区民審議委員からのスタートでした。

次なる区との関わりは、2002年～4年に2年余にわたる100人の区民プロジェクト「区民協働フォーラム活動」で、旧区役所前の薄暗い事務所で、メンバーの区民と「区民と行政との協働の在り方」を、夜間中心に連日議論を重ね、ようやく2004年11月15日に区長への「提言書」を提出して終わる、「創り上げる体験」を得た、思い出の残る活動でした。



（目黒区報平成16年（2004年）12月25日号）

地域では、地域の方から声かけを頂き、シニアスポーツのグラウンドゴルフの普及のため、理事長として目黒区グラウンドゴルフ連盟の立ち上げにかかわり、区民体育大会や品川、葛飾、新宿区等の他区との交流を推進しつつ、2003年に「目黒体育協会」に加盟後、目黒区体育施設の指定管理者制度導入の機会をとらえ、NPO 目体協の指定管理者指名の提案書づくりを中心になって推進。努力の甲斐がありミズノなど一流会社に伍して、中央体育館の指定管理者の指名を受けました。それからが大変でした。

目体協は、ほとんどが各団体の会長さんばかり、実務は？結果として私が館長を拝命しましたが、それからが試練の毎日となりました。

4月からのスタートに向けて、1月から「区からの業務引継」「体育館運営職員確保」「会計経理システム構築」「事業計画の区への提出」など、「ゼロから創り出す喜びと苦労の場」と現役時代の「マーケティング力・経営力が発揮できる」「新たな地域への貢献」を頂けた事と苦しいながら達成できた事が「一番の思い出」となりました。

私が館長として願ったのは、区の運営が「男・若い人」中心だった体育館を「女性・お子さん・シニア」にも楽しんで頂ける体育館づくりでした。

お子さんに人気がある「フットサル教室」「ジュニア新体操教室」「各種武道の初心者教室」「親子ボール教室」等々に新たな教室を作りました。

女性の皆さんには「ピラティス教室」「フレッシュヨガ教室」「フラダンス教室」などを開設。

シニアの皆さんには「シニアヨガ教室」「太極拳教室」など。その時太極拳に出会った妻は、健康のために今も頑張っております。

目体協の強みを生かしたCS＝顧客視点のマーケティングの実践となり、利用者の笑顔と会話の沢山のプレゼントを頂ける、運営を心掛けました。

2011年の震災時に初めて「館まつり」を企画。地域の多くの皆さんに供出頂いた品々での売上を「東日本大震災義捐金」（目黒区友好都市・気仙沼市被災募金）を2年に亘り目黒区に寄付。

向原小の生徒さんとのコラボでは、先生方のご協力で「ふれあい絵画展」を毎年3回、館まつりではトキワ松学園のダンス部の皆さんの「演舞」を！

毎年、中央体育館で初春に開催の東京海上火災保険(株)ビッグブルーのバスケットのイベントに全面協力した支援の結果、同社OB顧問の方、中体連トキワ松、目黒9中の先生方の協力を得て、平成25年7月、中学生に対するバスケットの「目黒区初心者クリニック」が実現しました。

沢山の来館者に喜ばれるふれあいの場づくり、交流の機会づくりとなった貴重な経験と思い出です。

最後になりましたが、私が最初に目指した体育館の目玉づくりは、区の運営中にはなかった「トレーニング室」作りでした。区の時代のカーテンが引かれ暗い事務室を改装。開放的なガラス張りの館の前面に目玉として開設！これらの種目、教室や施設は、コロナで延期されましたが東京オリンピック関係で改装された建物にも脈々と受け継がれております。

次に掲げた第2の目標は「指定管理者No.1」を目指す事でした。初めの5年間ではできませんでしたが、二期目の平成26年の計画では、目黒区評価委員会で「指定管理者の意義を踏まえた良好な計画である」との評価を頂きました。

68歳から6年目の定年延長の74歳で退職しましたので、この結果を見る事ができませんでしたが、ここまで楽しませて頂きましたのも区や地域、体協他の方々のご協力とご支援の賜物と思っております。

最後に頂いた、「館長さん今まで6年間ありがとうございました。年中の最後の方からはじめて6年間お世話なり、新体そうの技も身につけているので、これからも続けてがんばります。お元気で」と言う「少4ここちゃん」からの、思いがけない「感激の可愛い一文」は、私の「宝」となり、自己満足ですが、今も大切にとっております。

駒繫神社と葦毛塚

市川 亘（昭和51年 商）

コロナ自粛のおり、テニスもできず、稲門会活動も休会で何もすることもないので、以前より気になっていた下馬の駒繫神社と葦毛塚に5月2日に訪れてみました。ここは、頼朝伝説の地なのです。

私は元来歴史好きなのですが、母方の先祖をたどると頼朝の御家人（仁田四郎忠常と御宿惟重）にたどりつきますので、ひときわ頼朝伝説には興味が湧きます。

1189年源頼朝が奥州征討のおり、名馬葦毛に跨り、蛇崩川を渡ろうとしました。しかし、足元がぬかるみ、馬は転んでしまいました。結果葦毛は死んでしまい、頼朝はそれをいたく嘆き悲しみ、以降この地では馬を降りて川を渡るようにと命令し、その地名を下馬と名付けたとのこと。そして、逆に騎乗して良い場所を上馬と命名しました。

この行軍の際に頼朝一行がこの神社にたどり着き、この神社の松の木に駒を繫いだと言われているのが駒繫神社のいわれです。

神社の入口は朱塗りの橋があり、本殿はちょっと登ったところにあります。小さな神社です。ご祭神は大国主命で、八幡太郎義家もこの神社に立ち寄ったとのことですので、かなりの古社です。



ところで、駒沢と言う地名もこの由来から駒を引いて沢を渡る地、つまり駒引沢が短縮されたものと聞いたことがあります。また、蛇崩川は昔はかなりの急流で難所だったようです。

この神社から歩いて10分程のところの件の葦毛を祀った葦毛塚があります。何故か道路の真ん中に

あります。道路建設の際に撤去又は移転しなかったのは馬の碑とはいえ、昔から残っている古き尊い物を大切にしている日本人の良き気質から来ているのではないのでしょうか。



ここで一句。

いしぶみに 往時を偲ぶ 初夏の風(市川真至)

飛行機大好き

川崎秀一（昭和45年 法）

今年の3月29日から南風の15時から19時の間羽田に着陸する飛行機が目黒区の上空を通過する様になりました。羽田への飛行ルートは2ルートあり、目黒区上空を多く通過するのは羽田の滑走路16Rと言う滑走路に着陸する飛行機です。また、港区や品川区の上空を通過するのが16Lと言う滑走路に着陸する飛行機です。なお、16は方位を示していて160度、180度が真南ですからこの滑走路は北から真南よりやや東に向かって延びています。また、Rは右、Lは左の滑走路を示しています。つまり16Lは海側の滑走路、16Rは陸側 JALのターミナルと国際線ターミナルの間の滑走路になります。今は国際線ターミナルの名称は第三旅客ターミナルに変更になっています。

目黒区上空では低い所で600M位まで降りています。着陸準備万端で着陸用の車輪が降りているのもよく分かります。航空会社 JAL,ANA のマークもよく見えています。航空機の騒音で迷惑な方もいらっしゃるでしょうが、私は子供の頃からの飛行機ファンでこんなに近くに見える事をうれしく思っている変人です。また、スマホに Flightradar24 というアプリがあり、これを見ているとこれから着陸する飛行機がどこから飛んで来てどんな機材かも分かります。17時前頃に JAL015 便はボーイング 777-300 という機材でロスアンゼルスから羽田 16R に着陸します。以前あの便で帰って来た事があったなどと色々夢を膨らませています。コロナ騒動で現在80%くらい減便されていますが正常に戻るともっと沢山飛行機が見られると今から楽しみにしています。

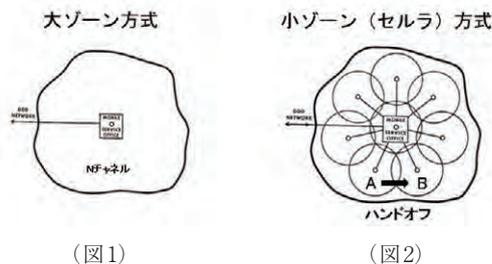
携帯電話と社会変革

金井豊男（昭和41年 理工）

昭和37年に第一理工学部電気通信科（設置後20年）に入学、戸塚キャンパスで授業を受けた後、翌年大久保キャンパス（現西早稲田キャンパス）に移動、3年生になって自分の進路は「無線通信」、「海外関係」と決めた。昭和41年、不況下であったが希望する通信会社に入社した。入社5年目、当時一兵卒であった私に米国向けモバイル電話端末開発という大きな仕事が待っていた。

1946年に米国AT&T社により最初の自動車電話が開始された。手動交換接続、単信方式で図1に示すように一つの都市を一つの基地局でカバーする所謂大ゾーン方式であった。割当周波数が少なく、利用者が増えてくると混雑して使えなくなるという弱点があった。

この時、AT&Tベル研究所は、実現技術が揃わない中、現在の携帯電話を可能とする所謂セルラコンセプト（図2）と言う概念を打ち出した。この概念は2つの新技術より成る。一つは、小さいゾーン（セル）をカバーする基地局を多数配置、周波数を繰返し使用することでシステム容量を増やし、端末の小送信電力化、小型化を図る。もう一つは、交信中の基地局Aの電波が弱くなる時、移動先の基地局Bへ自動的にハンドオフ（通話中伝送路切替）することである。



(図1)

(図2)

その後の移動無線機の著しい進化、固定電話回線網の電子交換機（1970年）、マイクロプロセッサ（1971年）の出現を契機に、米国および日本に於けるセルラ方式の研究・開発が急激に加速された。

第1世代 日本では1979年日本電信電話公社により第1世代（自動車電話）、アナログ音声サービスが開始され、米国では1983年AT&T社により（法制化手続きのため大幅に遅れた）本格的な第1世代（自動車／携帯電話）、音声サービスが開始された。

第2世代 アナログ方式の第1世代が普及し加入者容量が足りなくなると1993年より、音声をデジタルデータに変換し通信する容量の大きいデジタル方式が開始された。次に登場する第3世代と比較すると音質が悪く通信速度も遅いものの、電子メール、Web対応、カメラ内蔵などの高機能化が進んだ。

第1世代	第2世代	第3世代	第4世代	第5世代
1985年	1993年	2001年	2010年	2020年
アナログ	TDMA CDMA	WCDMA	OFDMA LTE	OFDMA 5G NR
	～64Kbps	～384Kbps	～1Gbps	～10Gbps
音声 	メール 	Web 	動画 	IoT他 

(図3) 携帯電話の変遷

第3世代 増大する加入者を収容するため「ITU」（国際通信連合）国際標準のWCDMA方式が採用され、データ伝送速度は更に～14Mbpsに高速化され、メールは勿論、ネットサーフィンも可能な速度となり、音声だけではなくデータ通信サービスも続々と登場してきた。2007年にはアップル社よりスマートフォン（PCと同様にソフトをダウンロードして色々な機能を追加できる端末）が発売され、携帯電話の流れは大きく変わった。

第4世代 スマートフォンの台頭と共に2010年代初頭に登場した第4世代は、光ファイバー網並みの1Gbps高速データ通信を実現、ゲームやチャット、動画などのリッチコンテンツもスマートフォンで楽しめるようになった。また、キャッシュレス決済、オンライン会合等のサービスも利用出来るようになり、スマートフォンの一層の普及に拍車をかけつつある。

第5世代 前述のように約10年のスパンで新世代の通信規格が登場している。本年、日本の大手通信各社により第5世代のサービスが導入される予定である。世界中の期待を集める第5世代は、従来のようなモバイル通信の進化というだけではなく、IoT（モノのインターネット）をはじめとする社会の変化にも対応した通信サービスとなる。第4世代までは、サイバー空間に人がアクセスし情報を入手・検索する情報社会を枠組みとしていたが、第5世代では、狩猟社会、農耕社会、工業社会、情報社会に次ぎ、IoT、ビッグデータ、AI（人工知能）、ロボット等が実現の鍵となる第5世代の新たな社会を目指し、必要な高効率のネットワーク技術の開発を目標としている。

第4世代と比較しての第5世代の特徴は、①高速（～10Gbps）・大容量化により高精細な画像や動画の利用が可能になる、②低遅延化（1ms）によりリアルタイムに近い通信が可能になり、素早いフィードバックが求められる自動運転の制御やVR（仮想現実）/AR（拡張現実）の活用が可能になる、③多接続化により100万点/1km²の端末を同時に接続でき、機器監視やスマートシティなどIoT分野での活用が可能になる。もはや携帯電話は手の平にのる「魔法の箱」へと進化する。

生きている

澁谷瑠璃

やっぱり、リアルがあってこそ、オンラインだと思う。

油画家として、日々制作に励んでいる。一貫する私の作品テーマは、“生きてる絵”。

温度って大事だ。生きてる事を証明してくれるから。冷たく固くなってしまうと、その瞬間に生物から物質になる。抱きしめても、温もりがない。

絵にはどうせ、最初から体温がない。モノだから、硬質的だと、そう思われても仕方がない。所詮ただの絵画だ。けれど、描いているうちに、だんだんと温もりを持ち始める。絵の具で形作られた体でも、私たちと同じように血が通っているんだとわかる。

オンラインで完結してゆく世界は、効率が良くとてもスマートだ。ただ、温もりがない。やっぱり私は、生きてる事を肌で感じたい。作品だって、オンラインに載せれば無限に拡散してゆくけれど、リアルな世界で誰一人として触れてくれないのなら、きっと何の意味もない。



I DON'T KNOW !

永田耕治（昭和36年 商）

2020年5月9日、近くの小さな公園まで散歩した。そこでボランティアで手入れをしている男性に話しかけた。

すぐ横にきれいな大きな花が咲いていたので、名前を聞いたところ申し訳なさそうに、私は雑草取りをする役で花のことはよく知らないとのこと。そこで、いいんですよ、と話を変えたが、ふと昔、仕事をしていた時のことを思い出した。

当時タイの責任者として駐在していた仲間の愚痴話である。彼は人一倍ゴルフ好きでそれだから腕前もシングル級だったがゴルフ以外、歴史だとか、芸術、自然などには全く興味の無い男だった。滞在中、よく本社から役員が出張してきたが、ろくに観光名所のアユタヤなどには案内もせず、休日は一流ゴルフコースに誘うことが多かった。プレイ中に珍しい花を見つけた役員が「A君あの花はなんという花？」とよく聞かれる。彼は絶対と断言していいほど知らない。「あれはこちらではタイダリアと呼んでいます」などといい加減な返事で逃げることにしていたがゴルフを楽しみたい彼にとってはいつも不愉快な質問だった。さすがに後で名前くらい調べて覚える努力はしていたようだが、もっと困るのは突然目の前に珍しい鳥が飛んでくる時だ。この時ほど鳥に腹が立ったことはない！と言っていた。

私を含め日本人は何か聞かれても「知りません」とはなかなか言わない習性があるようだ。

例えばアメリカ人などはいともあっさり「I DON'T KNOW !」ということが多いがその違いはどこから来ているのだろうか。

最近のはまり事

佐伯武雄（昭和41年 理工）

毎月 特定な研究テーマを4件決めて、その学習結果をまとめています。最近、はまっている2つの活動を紹介します。志ん生の落語研究から興味が広がった、島山健二著「本所おけら長屋」（PHP 文芸文庫）の江戸人情話です。野暮と粋が混ざり合った、血でなく心で繋がる長屋住人が助け合い、毎回のトラブルを解決していきます。時に涙ぼろぼろ流しながら、毎日1話ずつ読んでいます。私には、昔の郷愁やあこがれの気持ちで一杯になります。

もう1つは、齊藤孝著「頭の良さとは説明力だ」（詩想社新書）で、相手に分かりやすく簡潔に伝える技法や要約力のガイドラインをまとめています。

読書後も、検討課題（例：生きがいは）を決めて、実践的に要約する練習をしています。今、コロナ対策のテレビ放映の解説者に、わかりやすい説明力ある人を見聞きすると、そのありがたさを感じています。健康維持と共に、涙と笑いで感動しながら、昨日との些細な変化に気づく毎日の小さな幸せに感謝しています。

一枚の写真

保井 正（昭和34年 政経）



早稲田大学映画研究会の箱根十国峠に旅行した時の一枚です。中央の学帽を斜めにかぶっている人が大内秀明さん、その左側が保井 正本人、一人おいての女性が中 峯子さん(映画監督故岡本喜八氏夫人)、左端の背広姿がキネマ旬報編集長だった白井佳夫さんです。私は第一政治経済学部経済学科でしたが、三人は文学部でしたから映画研究会に入部した動機の本気度が違います。私は二年生、大内さん、白井さんは三年生、中さんは一年生だったと記憶しています。白井さんはすでに大人の雰囲気映画の蘊蓄が凄くてとてもかなわないと思いました。中さんは黒い皮ジャンをお召しで見るからに文学少女でした。後に「独立愚連隊」を制作した東宝の岡本喜八監督と結婚されてプロデューサーとして辣腕を振るう事になるとは夢にも思いませんでした。2015年に公開され、その彼女が監督した「ゆずり葉の頃」を岩波ホールで拝観しました。中さんが廊下で大勢のご婦人に囲まれていて声をかけることが出来ませんでした。大内さんと中さんの間の方が高等学院時代の同級生の竹中 勉さん、水泳部で麻布十番「更科堀井」の堀井良造さんと一緒に汗を流したと新蕎麦会でいつも懐かしんでいました。

当時、都下大学映画研究会連盟の会計をしていた私は映画制作資金として大映の永田雅一社長から十万円を寄付していただいた事にはびっくりしました。映画研究会の機関誌「映画精神」に「砂漠は生きている」という映画に評論を載せたりして楽しんでいました。アルバイトも映画会社に関係したもので、浅草ロックの映画館で観客調査をするもので、その入り具合で全国映画館の成績が予測されると言うもので日当500円でした。正月興行の浅草国際劇場で大川橋蔵と美空ひばりの公演があり、劇場を二重三重に取り巻くファンの整理員も務めました。

私は親の反対もあって某証券会社の調査部に就職をして、波乱万丈の人生となりました。テレビの台頭とともに映画業界は斜陽化になり、証券業界は高度成長の波に乗りました。大学の四年間は色々な人達がうぶな私を成長させたのかもしれませんが。

新入会員



中島 恒(平成7年 法)

(三鷹市上連雀在住)

卒業して25年、早稲田らしく(?) 母校にも稲門会にも顔を出してこなかった自分ですが、最近稲門のご縁を頂くことが増えており、改めて母校のありがたみを感じております。

今般、自由が丘勤務ということでご縁を頂きました(区境ギリギリで世田谷区ではございますが…)。コロナ禍の中、早く皆さまにお会いできることを楽しみにしております。よろしくお願い致します。



横山和枝(昭和51年 商)

(北区東田端在住)

皆様、これからよろしくお願ひします。かねてより佐伯文子さんから稲門会の色々楽しそうな話を伺っており、誘われて何回か一緒することもあって今回、正式に入会させて頂くことになりました。

姿、形は変わられても、皆様の学生時代そのままの仲間意識、連帯感が感じられ、私自身懐かしく昔を思い出すことができました。これから色々活動に参加して見聞を広めたいと思います

新家族会員 佐伯友子

会員との関係：佐伯文子会員の長女

(目黒区洗足在住)

2018年の旅行部会から参加させていただきました。佐伯文子の娘、佐伯友子です。私の母校は慶応義塾ですが早稲田とは図書館のシステムWINFや早慶戦など切磋琢磨を続ける存在というイメージがあります。これからも頑張りますのでどうぞ宜しくお願い致します。

編集後記

部会活動が休止となり、誌面の確保があやぶまれる状況でしたが、多くの会員の皆様から原稿をお寄せいただき、無事に今号を発行することができました。ありがとうございました。(猪名川 記)

目黒稲門会会報第88号

(2020年9月発行)

[正誤表]

本会報内に誤記がありました。お詫びして訂正します。

(2020/8/31)

	誤	正
6p、右欄、下から4行目	1km2	1km ²
8p、右欄、下から9行目	WINF	WINE